

【国分寺市脱炭素まちづくり 未来ワークショップ
～未来市長になって考える 2050 年の国分寺のまちづくり～ を開催しました】

5月21日(日)に開催した環境ひろばは、「(仮称)国分寺市地球温暖化防止行動計画(市域版)」策定のためのワークショップを行いました。このワークショップは、国分寺市がゼロカーボンシティ(*)として、2050年までに市域の温室効果ガス排出量を実質ゼロとするために、どのような施策をいま行う必要があるのかを、参加者が2050年の国分寺市の未来市長になった設定で、政策提言を行うという内容で実施しました。

当日は14名の方が未来市長として、脱炭素を視点とした2050年の国分寺のまちづくりについて、ご検討いただきました。

ワークショップではまず、全員で2050年に国分寺市がどのような市となっているか、人口や産業、道路・住宅・公共施設などについて共有しました。その後、グループに分かれて、2050年の国分寺市にどのような課題があるのか、どのような施策をいま行う必要があるのかをそれぞれ話し合いました。グループでの話し合いが終わった後、ほかのグループの施策を見ながら、それぞれがよいと思った施策に「いいね!」のシールを貼り、他グループから評価の高かった施策と自分たちのグループにおいてイチ押しの施策を発表し、共有を行いました。

各グループでは以下の意見が、グループのイチ押し施策や他グループより評価の高かった施策として発表されました。

(各グループの主な意見)

A グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・開発行為を抑制して緑を増やしていく。 ・まちづくりについて、市民からボトムアップで行う、地区のまちづくりへの転換が必要となる。環境教育や情報発信などの機会を増やす。
B グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・野川の再生も含め、豊かな緑・農地や水を守っていくことが必要。 ・こくベジの普及など、農業を続けられる環境を構築する。
C グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・都市農業を守っていく必要がある。 ・ゴミ分別の工夫などに取り組む。

脱炭素といった視点だけでなく、市についてどのように感じているか、また現在の市の課題についても、みなさんの思いを知ることができたワークショップでした。

いただきましたご意見を令和6年3月に策定予定の「(仮称)国分寺市地球温暖化防止行動計画(市域版)」の検討にいかし、国分寺市は2050年温室実効果ガス排出量実質ゼロに取り組んでいきます。

(*) 2050年温室効果ガス排出量実質ゼロに取り組むことを表明した自治体



ワークショップで「いいね」シールを貼る様子

＜ワークショップ(午後の部)＞

環境ひろばと同日午後、同内容のワークショップを一般公募の方対象に開催し、23名の方にご参加いただきました。ご参加いただきました方、ありがとうございました。



【動植物調査（春期）環境団体向け講習会実施の報告】

本市では、平成27年度に続き、動植物の生育・生息状況を把握するため、令和5年度動植物調査（専門員）を実施しています。

本調査の一環として、環境団体の方が自主的に動植物調査を行う契機になるよう専門員を講師に招き、観察会形式の講習会を、5月25日（西恋ヶ窪緑地）と27日（姿見の池緑地）に実施しました（参加者 合計16人）。

両日とも天気にも恵まれ、鳥類・昆虫類（水生生物含む）を対象に観察ポイントを聞いた上で実地指導を受けました。

鳥類調査

双眼鏡の使い方や記録の付け方、鳴き声の違いなど、実際の鳥の声を聞きながら指導を受けました。じっとせず、飛んでしまうため、姿を捉えることに苦労しましたが、キジバトやシジュウカラ、ムクドリのほか、カワセミやコゲラなど、色々な種類を見つけることができました。参加者の皆さんの夢中になって鳥を探す姿が印象的でした。また、観察中にムクドリのヒナがカラスに捕食されている場面に遭遇し、ショックな出来事でしたが、生態系の仕組みを間近で見る貴重な機会となりました。

昆虫類調査

捕虫網の扱い方の指導のほか、虫が隠れていそうなポイントを観察したりしながら、観察を進めました。ナミテントウやモンシロチョウ、シオカラトンボ、オトシブミの一種などを見つけることができました。生きている姿だけでなく、地面に落ちているチョウやガの羽も生息の重要な手がかりになるため、採取と記録を行いました。姿見の池の付近では、桑の木にハラグロオオテントウとみられるサナギを見つけ、近年北上傾向にある種類であると専門員の話もあり、温暖化の影響なのか、動植物調査の重要性を再認識しました。

＜参加者の声（一部を紹介）＞

- ・知らない種類を知ることができて良かった。
- ・講義を受けながら実物を見つけることができて楽しかった。
- ・初心者として調査というものを理解できた。
- ・専門員と歩くことで、分かりやすく、勉強になった。

市民の皆さんからも、動植物の珍しい発見がありましたら、写真や記録を市にご報告ください。

また10月中頃に植物・昆虫類の観察会を予定しています。市報等でお知らせする予定ですので、ぜひご参加ください。



（西恋ヶ窪緑地）観察会風景



（西恋ヶ窪緑地）捕まえた昆虫の観察風景



（姿見の池）観察風景



（姿見の池）観察したカワセミ

環境ひろばのお知らせ

7月9日（日）午前10時～正午 市役所 書庫棟会議室（戸倉1-6-1）

『環境ひろば』は、環境（保全、回復、創造）について市民・事業者・市が自由に意見交換を行う場です。皆様のご参加をお待ちしています。

（あしがき）

脱炭素まちづくりを考えることは持続可能なまちづくりについて考えることです。いまある緑や湧水などの自然や、文化財などのまちの魅力を残しながら、将来においても人が住みやすいまちをどのようにつくっていくか、市民のみなさん共に未来を考えながら、2050年温室効果ガス排出量実質ゼロの実現に取り組んでいきます。（まちづくり計画課）

国分寺市環境ひろば 事務局

国分寺市 まちづくり部 まちづくり計画課

〒185-0012

国分寺市本町4-1-9本町クリスタルビル4階

TEL：042-314-9005（直通）

FAX：042-323-9060

Eメール：machikeikaku@city.kokubunji.tokyo.jp